学校番号	1010

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新詳地理Ｂ　帝国書院						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図を活用し地理的な見方や考え方を養います
・気候や環境問題を学び、その後今の世界の問題である人口問題や資源・エネルギー・食糧問題を考えます。

2　学習の到達目標

・世界の地理的事象を考察し、地理的認識を養う。
・地図や統計などを利用し、地理的な見方、考え方を培うとともに、国際社会に生きる資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の課題に興味・関心を持ち、自分自身の生活と関連し考えられるようになる。地理的素養を身につけ、現代世界の諸課題の解決に生かす事ができる。	地理的見方や考え方をもとに、現代世界の諸地域の課題について把握することができる。また、歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。	地図や統計などの様々な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地域での社会生活を営む上で必要な基礎的知識や概念・地理的見方を身につけている。世界の諸事情や課題をさまざまな角度で理解を深めることができる。
評価方法	ワークシート グループワーク レポート	定期考査 ワークシート グループワーク	定期考査 ワークシート グループワーク レポート	定期考査 ワークシート グループワーク

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第Ⅰ部　さまざまな地図と地理的技能	1章　地理情報と地図 1節　地図の発達 1　現代世界の地図 2　世界観の変化と地図	◎	○	◎	○	a:地図の読図や作成を通じて地理的素養を高め、その有用性への関心を養い、地域調査をする感心と態度を高めている。 b: 地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し，結果を適切に表現できる。 c: さまざまな統計地図から，示された情報を適切に収集する。読図などを通して，地域の情報を収集・選択できる。 ｄ:地球を地図に表現した場合の各図法の長所短所について理解し,その知識を身につけている。 a:世界の地形気候について関心を高め,災害や土地利用など人間生活とのかかわりについて意欲的にとらえようとしている。 b: 世界の地形・気候について，人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: 地形図や写真などの資料から，情報を選択し，読み取ることができる。 世界の気候について,雨温図などから,特徴や相違点などを読み取ることができる。 d: 世界の地形について，分布や特徴,人間生活とのかかわりについて理解し,その知識を身につけている。 世界の気候の各気候区の特徴,気候変動などについて,人間生活への影響などを理解し,その知識を身につけている	定期考査 ワークシート レポート
		2節　地図の種類とその利用 1　地球上の位置 2　時差の求め方 3　地球儀とさまざまな地図	◎	○	○	◎		
		3節　地理情報の地図化	◎	○	○	◎		
		2章　地図の活用と地域調査 1節　地図の活用 2節　身近な地域の調査 1　調査テーマの設定 2　課題の調査 3　調査結果のまとめと発表	○	◎	◎	○		
	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	1章　自然環境 1節　世界の地形 1　地形の成因 2　地球規模の大地形 3　河川と海岸の小地形 4　そのほかの特徴的な地形	○	○	◎	◎		
		2節　世界の気候 1　気候の成り立ち 2　世界の気候区分 3　気候と植生・土壌 4　変化する気候	○	○	◎	◎		

後期	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	3 節　日本の自然の特徴と人々の生活 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災 "	◎	○	◎	○	a: 日本の地形・気候と，自然災害の特徴や防災のあり方に関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: プレートや大陸との位置関係などから日本で発生しやすい災害の特徴やこれに対する防災のあり方を考察し，その要因や課題を適切に表現できる。 c: 自然災害と防災に関するデータや写真などから，日本の地形と自然災害と防災の特徴や課題を読み取ることができる。 d: 自然災害の特徴や防災のあり方を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
		4 節　環境問題 1 世界の環境問題 2 さまざまな環境問題 3 日本の環境問題"	○	◎	○	○	a;世界と日本の環境問題に対する関心を高め，意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 環境問題の原因，影響，対策について，特徴や地域的な分布，今後の課題などについて適切にまとめ，表現できる。 ｃ:データや写真など適切に選択し，読み取ることができる。 ｄ:環境問題の原因，影響，対策などその知識を身につけている。	
		2 章　資源と産業 1 節　世界の農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 世界の林業・水産業 5 日本の農林水産業"	○	○	○	◎	a:現代世界と日本の農林水産業に対する関心を高め，追究し，捉えようとしている。 ｂ:農林水産業の現状と課題を考察し適切に表現できる。 ｃ:統計などの諸資料から情報を適切に選択し，農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。 ｄ:世界の農林水産業について農業の地域区分や各農業の特徴を理解し，その知識を身につけている。	

		2 節　食料問題 1 世界の食料問題 2 発展途上国の食料問題 3 先進国の食料問題 4 日本の食料問題"	○	◎	◎	○	a: 発展途上国や先進国，日本の食料問題に対する関心を高めｅ意欲的に追究し，とらえようとしている。 ｂ：食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題の状況を適切に表現できる。 ｃ：食料の生産と消費の推移や地域的かたよりに関する統計などの諸資料から，食料問題の現状や課題について読み取ることができる。 ｄ：食料問題について，その要因を理解し、その対策などに関する知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
		3 節世界のエネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用 4 節　資源・エネルギー問題 1　現代世界の資源・エネルギー問題 2　さまざまな資源・エネルギー問題 3　日本の資源・エネルギー問題"	○	◎	○	◎	a: 世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりなどの課題意識を高め，追究し，とらえようとしている。 ｂ：資源の特徴や利用法，分布のかたよりを，自然環境の学習内容をふまえて考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 ｃ：エネルギーや資源の統計から，情報を適切に選択し，資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。 ｄ：世界のエネルギー・鉱産資源について，その種類や分布，おもな利用法などを理解し，その知識を身につけている。 a: エネルギー問題について，生産・消費の不均衡に対するなどの関心と課題意識を高め，とらえようとしている。 ｂ：石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを考察し適切に表現できる。 ｃ：〇資源やエネルギーの情報を適切に選択し，特徴や課題について読み取ることができる。 ｄ：資源やエネルギーの不均衡や石油情勢，エネルギーのあり方などを理解している。	

							〃	

	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	5節　世界の工業 1工業の発達と種類 2工業の立地とその変化 3世界の工業地域 4現代世界の工業の	◎	○	○	◎	a: 世界の工業について，工業の発達過程や種類,立地とその変化,現状と課題などに関する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追究し,とらえようとしている。 ｂ:世界の工業地域の発達と変化について多面的に考察し,結果を適切に表現できる。 ｃ:〇工業生産や地域的分布に関する諸資料から,情報を選択し,国ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 ｄ:世界の工業について，工業の発達過程や種類,立地とその変化，現状と課題，及び日本の工業の特徴と課題を理解し,その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
		6節　第3次産業 1　第3次産業の発展 2　多様化する観光産業 3　日本の観光産業"	○	○	○	◎	a:世界の貿易と経済圏について，課題意識を高め，それを追究し，とらえようとしている。 b: 現代世界の貿易と経済圏について,貿易の自由化と経済連携の動向と課題を考察し,そ結果を適切に表現できる c: 世界の貿易に関する統計から,世界貿易と経済圏の規模や地域間関係について読み取ることができる ｄ:貿易に関する用語や経済圏の組織,世界の貿易の特色を理解し，知識を身につけている。	
		7節　世界を結ぶ交通・通信 1　世界の交通網 2　情報と通信の発達"	○	○	◎	○	a: 交通機関や通信の発達による世界の一体化課題を意欲的に，とらえようとしている。 ｂ:一体化が進む世界の課題について，適切に表現できる。 C：各種統計から，交通・通信網の分布や地域差について読み取ることができる。 ｄ一体化の進行などを理解し,その知識を身につけている。	

							〃	
後期	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	8節　現代世界の貿易と経済圏 1　私たちの生活を支える貿易 2　国際分業の発達と貿易の地域間格差 3　貿易の自由化と経済連携 4　日本の貿易の現状と課題	◎	○	○	○	a: 現代世界の貿易と経済圏について,国際分業が進む世界と日本の貿易の現状に対する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追究し,とらえようとしている。 ｂ:貿易と経済圏について,国際分業の現状と課題をふまえて,貿易の自由化と経済連携の動きと課題を考察し,その過程や結果を適切に表現できる。 ｃ:世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などから現代世界の貿易と経済圏の規模や地域間関係について読み取ることができる。 ｄ:貿易に関する用語や経済圏の組織,世界の貿易の特色や動向などなどを理解し,その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。